している総合防災訓練 訓練についても、例年

定住促進事業の

続した実施

【問】三世代同居近居住宅を市民に周知している。 とを市民に周知している。 で住促進策として、引きをを市民に周知している。 とを市民に周知している。 とを市民に周知している。 どうか。 どうか。

【答】補助金を交付した世本市で住宅取得もしくはリフォームしていた世帯が60%となっており、事業の継%となっており、事業の継のとなっており、事業の継のとなっており、事業の継のとなっており、事業のとはり

一般質問

積極的な財政再建策の推進を

【問】本市の財政は大変厳しい状況である。緊急時のための基金は目標を持ってための基金は目標を持ってさらに企業やホテル誘致をより積極的に行うべきと考えるがどうか。 【答】基金は積み立てる目標を持ち、また市有地の処分やでおり、ホテル誘致を前層の適正化を図るため、でおり、小で記りできるであり、ホテル誘致も積極的に行っている小中一貫教育や小規でおり、ホテルきたい。 【問】全国的に取り組まれている小中一貫教育や小規でおり、ホテル誘致も積極がである。

積極的に始めるべきである。 ために、新たな魅力づくりをすべきと考えるがどうか。 模特認校については検討を 模特認校については検討を 進めていきたい。 また、泉州地域で唯一、 商業科のある専門高校としていきたい。 【智】市営住宅への民間活 していきたい。また、市街 していきたい。また、市街 していきたい。また、市街 も検討を進めていきたい。 をすべきと考えるがどうか。 「後】民間住宅の空き家を と考えるがどうか。 「後】まで、泉州地域で唯一、 「大力導入や市街化調整区域の 日間、市営住宅のの民間活 していきたい。また、市街 としていきたい。また、市街 としていきたい。また、市街 としていきたい。また、市街 としていきたい。また、市街

府間どえ

めるため、

議して

その影響を

移譲手続の期

パスポートセンター 置の メド

井は

上

の地方分権の趣旨とは異なる事務の移譲であり、本来【答】旅券発給事務は単な

るとは思えない金額では財政で

い再

舟建に影響 この程度

考えを聞きたい

移う今の けスるのる一のすの去

を表示の を表えるが、市民サービ ると考えるが、市民サービ ると考えるが、市民サービ の策定中であることから、 ただ、行財政再建プラン ただ、行財政再建プラン の策定中であることから、 の策定中であることから、 の策定中であることから、 からで、しかるべき時期に すえで、しかるべき時期に また、分室の閉鎖を見極めた

「問」パスポートセンター 「問」パスポートセンター るため、当面は見送ること るため、当面は見送ること となった。りんくうタウン のセンター分室は平成31年 では30年10月までに設置す では30年10月までに設置す では30年10月までに設置す を受理の2往復分の交通費 と受理の2往復分の交通費 を受理の2往復分の交通費 を受理の2前に設置す 本市がこの業務を行った 大口の大口はどである。 があるため、場面の各市町 では30年10月までに設置す を受理の2往復分の交通費 を受理の2を優先するあまり があるでは、中間をかけ では31年 をでは、ののでは、中間をかけ をできなくなる。

市民にも開か 性

0

確

子

れている。 育委員会の附属機関は11あ育委員会の附属機関は11あ

その議事録の中には、誰ではなおさらである。 録音も義務付けのがある。録音も義務付けのがある。録音も義務付けのがある。録音した場合では、審議会等で決定に至るまでのプロセスは、でに至るには、審議会等である。 ほうに手当が支給されている。 はっしい あるべきである できるまでのである。 まるはなおさらである。 そこで、審議会等とされている。

が 必要と考える 拓矢

を作 正成する ために、

すの論考害でにとを 十ののいで声議 が言

物資輸送の重要性

の 実施

だ合わせて関係機関や事業 所と連携し取り組む。 「問」泉南地域一帯の物資を集積する南部広域防災拠点である前部にあるが、立地に不安がある。今後は北部、中部と同様に、後方支援活中部と同様に、後方支援活力がある。等後は北部、立地をを整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備については、平区域の整備に対して関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と合わせて関係機関や事業と同じないよりに対して関係機関や事業と同じないる。

【問】大規模災害の発生後、 物資を適切に設置される総合オペレーションセンターの立 ち上げ訓練が必要と考える。 まずは、避難者へ物資を 建滞なく届けるためのロジ スティクス計画を早急に策 度、職員ワークショップを 度、職員ワークショップを がどうか。 また、ロジスティクス計画 の検討をしていく。 また、ロジスティクス計画 の検討をしていても、例年実

間】今年4月に産業振興部が魅力創造部へ組織改編部が魅力創造部へ組織改有で何がどのように変貌しつで何がどのように変貌しつで何がどのように変貌しつで何がどのように変貌しつで何がどのように変貌しつで何がどのように変貌しつで何がどのように変貌しつで何がどのように変貌しつで何がどのようなるにぎわいの創造のでもるが、どのような観光文化都である。食べる、見る、体験する・触べる、見る、体験する・触べる、見る、体験する・触るが、どのような観光文化都である。食

観光文化都市岸和田につい

人でに移転し、担当職員も増 とに移転し、担当職員も増 などに移転し、担当職員も増 などに分類し、それぞれに などに分類し、それぞれに 対応していきたい。
は会や関係事業者とともに め、現在の場所に配置している。担当職員の増員についる。担当職員の増員についるため、関係各課であるたれるため、関係各課で調整 例えば岸和田駅前商店街なは、観光課の配置場所を、また、観光施策の推進に